

しまね いきいき いねっと

(公財)ふるさと島根定住財団
(しまね県民活動支援センター)
<https://www.teiju.or.jp/>

2019

2月号 Vol.130



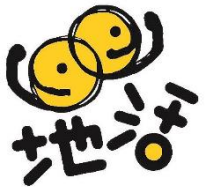
今月の見どころ

P1. 「地活っちゃんが行く！」
島根いきいき広場「メルマガオフ会」レポート

P3. 助成金・イベント情報

P2. 参加者大募集♪申込期限迫る 1月31日まで！
地域づくりオールスター祭 in 大田

P4. 島根で頑張る人
有限会社 藤本米穀店 藤本 真由 さん



第31回 12月は“寄付月間”～Giving December～

レポート

っちゃん がいく！ 島根いきいき広場「メルマガオフ会」開催



当財団では12月20日に島根いきいき広場メールマガジン登録者限定のオフ会を初開催しました。

12月は“寄付月間”ということで「キフを学び、キフを考え、キフを食べる。」と題して、寄付に関するワークショップと交流会を行いました。当日は10名が参加し、普段顔を合わせることのないメルマガ会員が交流し、地域活動を行う者同士の親睦を深めていただきました。当日の様子を報告いたします。

★ワークショップ「キフを知り、キフを考える」

今回のテーマ「寄付」について参加者それぞれの立場（寄付をする側、寄付を受ける側）で考え、寄付の魅力について意見を出し合い、様々な角度から考えることができました。情報提供では、島根県が赤い羽根共同募金の1人あたりの寄付額全国1位ということに参加者から感心の声が上がりました。参加者からは「期待以上の学びがあった」「いろいろな気づきがあった」等の意見があり、寄付に対して関心が高まったことが伺えました。



▲寄付付き商品を囲んで交流会

★交流会「キフを食べる」

指定の販売場所で購入すると寄付ができる「寄付付き商品」。今回は雲南市の商品を中心に集め、参加者の皆さんに実際に食べていただきました。

寄付付き商品のご紹介 *…赤い羽根共同募金への寄付額

- ① ばら寿司 (大嶋鮮魚店) *5円 (販売場所: たたらば壱番地)
- ② 焼肉ビビンバ丼 (大嶋鮮魚店) *8円 (販売場所: ")
- ③ 鯖寿司 (会席たむら) *10円 (販売場所: ")
- ④ たなべのたまごぷりん (株田部) *1円 (販売場所: ")
- ⑤ たたらカステラ (吉原亀栄堂) *50円 (販売場所: 吉原亀栄堂)
- ⑥ みそまんじゅう (吉原亀栄堂) *10円 (販売場所: ")



情報収集に役立つ！
メールマガジンに
ご登録ください！

毎月第2・第4水曜日にボランティア情報やNPO・地域づくり団体情報、助成金情報などを掲載し、発行しています。

会員登録
島根いきいき広場HP
<https://www.shimane-ikiiki.jp/>
より右下の[メールマガジン登録]をクリックし、メールアドレスをご記入ください。
ご登録お待ちしております！

今回の開催により、会員同士のつながり創出や、ワークショップを通して参加者の皆さんに楽しみながら学んでいただくことができました。今後、会員様の意見を取り入れながら次回開催について検討していきたいと思っております。



財団からのお知らせ

参加者大募集♪

申込期限迫る 1月31日まで!



地域づくり オールスター祭 in 大田

2019年2月9日(土) 10:00~16:00 (9:30 受付開始)

会場/島根県立農林大学校(大田市波根町 970-1) 参加費/1,000円(昼食代)

※WEB、FAX、E-MAIL から申し込みできます。

プログラムや申し込み方法などの詳細はこちら⇒



今年度は、新たなテーマの分科会が4つ♪

内容盛り沢山でお届けしますので、ぜひお越しください!

7テーマのうち2つを選べます!

テーマ1 NEW!

「小さな拠点づくり」

住民の住民による住民のための株式会社の取り組み
えーひだカンパニー(株)
小田ちさとさん・藤原崇史さん



ファシリテーター
島根県しまね暮らし推進課
三輪美保さん

テーマ2 NEW!

「地域ブランディング」

古民家再生と文化の力
石見銀山での取り組み
中村プレイス(株)
中村哲郎さん



ファシリテーター
(株)玉造温泉まちデコ
角 幸治さん

テーマ3

「特産品開発」

地域の恵みを生かした
特産品開発で魅力を発信
大根島産直市有限責任事
業組合 柏木利徳さん



ファシリテーター
合同会社やもり
田口壽洋さん

テーマ4

「空き家・古民家の活用」

地域に眠っている家屋を有効活用
田舎ツーリズムの実践
と様々な活用事例
古志古民家塾 江角俊則さん



ファシリテーター
島根県中山間地域研究センター
檜谷邦茂さん

テーマ5 NEW!

「地域を磨く観光」

島全体を巻き込んだ観光の本質的な魅力づくり
マリンポートホテル海士
青山敦士さん



ファシリテーター
(株)シマネプロモーション
三浦大紀さん

テーマ6

「関係人口」

関係人口と共に旧三江線跡地活用を通じた地域振興
NPO 法人江の川鐵道
森田一平さん



ファシリテーター
ローカルジャーナリスト
田中輝美さん

テーマ7 NEW!

「にぎわいづくり」

創業支援・駅前活性化・人材育成で江津のまちを元気に!
NPO 法人てごねっと石見
盆子原照晶さん



ファシリテーター
NPO 法人おっちラボ
平井佑佳さん

皆さんのお楽しみ♪

昼食は、「山の駅さんべ」のさんべ育ちの美味しいもので作ったお母さん弁当&スープです!
地元の食材にこだわったお弁当をご賞味下さい。



今月の和歌

「“害虫”は 間違いだよ」と たしなめる 大先生は 小学6年生 (島根県吉賀町 小黒洋さん)

第3回農業・農村はかっこいい! 和歌募集 入選作品



2019年度「ネオニコチノイド系農薬に関する企画」公募助成

- 締切日：平成31年2月1日(金)
- 対象：調査・研究カテゴリ（現行の農業行政や製薬メーカーの意向から独立し、予防原則に基づいて一般市民・消費者・生産者の保護につながる調査や研究のプロジェクトなど）
- 応募資格：ネオニコチノイド系農薬に関する問題提起や使用の削減ないし中止に取り組む個人および団体
- 助成金額：1企画あたり上限100万円
- 問合せ先：(一社)アクト・ビヨンド・トラスト 助成係（担当：八木）
TEL:070-6551-9266（平日10時～19時）
<https://www.shimane-ikiiki.jp/subsidies/3996>



第8回（活動）杉浦地域医療振興助成

- 締切日：平成31年2月28日(木)
- 対象：「地域包括ケア」「健康寿命の延伸」を実践している活動（地域住民の参加を重視）
- 応募資格：日本国内で活動する個人または団体、とりわけ高齢者人口が急激に増加している都市で地域医療従事者として実際に業務を行っている多職種の皆様の応募を期待。
- 助成金額：1件あたり上限50万円、総額500万円
- 問合せ先：(公財)杉浦記念財団
TEL:0562-45-2731 FAX:0562-45-2732
<https://www.shimane-ikiiki.jp/subsidies/3997>



2018年度 公益財団法人ノエビアグリーン財団助成

- 締切日：平成31年2月28日(木)
- 対象：児童、青少年の健全育成の向上を目的とした体験活動、スポーツの振興に関する事業を積極的に行い奨励している団体、個人。※奨励している分野等、他条件あり。
- 応募資格：上記団体、アマチュアスポーツ選手(18歳以下)
- 助成金額：1件あたり上限300万円
- 問合せ先：(公財)ノエビアグリーン財団 事務局
TEL:03-5568-0305（平日9時～17時半）
<https://www.shimane-ikiiki.jp/subsidies/3993>



読売新聞社 第13回「読売あをによし賞」

- 締切日：平成31年2月28日(木)必着
- 対象：かけがえのない文化遺産を様々な現場で守り伝え、卓越した業績を上げた人。（分野、自薦、他薦、個人、団体を問わない。）
- 表彰：読売あをによし賞(賞金300万円と記念品)、奨励賞(賞金100万円)、特別賞(記念品)
- 問合せ先：読売新聞大阪本社編集局「読売あをによし賞」事務局
TEL:06-6366-1711
<https://www.shimane-ikiiki.jp/subsidies/3995>



平成31年度 児童養護施設等助成

- 締切日：平成31年2月28日(木)必着
- 助成内容：児童養護施設等が子どもたちの教育の充実を図り、将来の社会生活に有用と期待される設備等の購入及び活動に必要な資金の全部または一部を助成。
- 助成対象：児童養護施設等が子どもたちの為の教育活動として、重複して補助金、助成金の受給を受けていない事業
- 助成金額：上限100万円
- 問合せ先：(公財)こどもの未来創造基金 事務局
TEL:03-6712-7763
<https://www.shimane-ikiiki.jp/subsidies/3992>



第20回 社会貢献基金助成

- 締切日：平成31年2月28日(木)必着
- 助成内容：①研究助成、②高齢者福祉、③障害者福祉、④児童福祉、⑤環境・文化財保全、⑥地域つながり、⑦冠婚葬祭継承事業などの社会貢献事業に対する助成。
- 助成金額：1件あたり上限200万円（研究助成は上限100万円）
- 対象：非営利組織及び大学、研究機関(個人可)で、助成対象事業の趣旨に合致する事業を行おうとしている団体等
- 問合せ先：(一財)冠婚葬祭文化振興財団 社会貢献基金助成運営事務局 TEL:03-3596-0061
<https://www.shimane-ikiiki.jp/subsidies/3963>



インターネットで発信している情報を「ちゃんと」受け取ってもらう方法

- インターネットの活用は必須スキル！活用方法を見直しましょう。
- 開催日時：平成31年1月29日(火)/30日(水) 9:30-12:00
 - 対象：一般、NPO、企業、行政ほか
 - 講師：堤大介氏（株）STYZ ファンドレイジング・コンサルタント
 - 会場：西部1月29日(火) パレット江津会議研修室①②
東部1月30日(水) 島根県民会館第1多目的ホール
 - 参加費：無料（各定員40名・事前申込必要）
 - 問合せ先：島根県環境生活総務課 NPO活動推進室
TEL:0852-22-6099
<https://www.shimane-ikiiki.jp/events/3908>



福祉教育推進セミナー

- 開催日時：平成31年2月26日(火)13:00～16:30
- 場所：くにびきメッセ601会議室(松江市学園南1-2-1)
- 内容：「ふくしの学び合い」推進助成事業実践報告、講演「誰もが役割があり活躍できる地域共生社会の実現を目指して」等
- 対象：市町村社会福祉協議会、公民館、学校、地域における福祉教育推進者、社会教育委員他。
- 参加費：無料（定員100名程度・事前申込必要）
- 問合せ先：島根県社会福祉協議会・地域福祉部 地域福祉係
TEL:0852-32-5997 FAX:0852-32-5982
<https://www.shimane-ikiiki.jp/events/3905>

島根で 頑張る人

お米の産地を盛り上げる！ 「うやま米」でつながる地域と若者

宍道湖から中海へ汽水を運ぶ大橋川。その南北をつなぐ新大橋のたもとに藤本米穀店はある。

明治26年の創業以来、地元のお米を中心に高いを続け、厳選したこだわりの米を取り扱う。「出来るだけ自分で産地を訪ね、生産者さんと会って話をすることを大切にしています」と5代目の藤本真由さんは言う。東西に長く、島や海・山も多い島根県の米を知るには、実際に現地へ赴き、産地の特性を知り、直接話をしなければ、いい米を見極めることはできない。そんな思いから、高品質の米を求め、県内の米農家を訪問して行く中で、宇山地区で奮闘する人々と出会った。

雲南市から「米の輸出に取り組みたい」と相談があり、現地へ赴いたことが始まりだった。標高約500m、大雪が降り雪解け水が田んぼを潤す。寒暖差があり、水、空気がきれい。さらに島根米の種もみ栽培の管理能力を有する。こんなに米作りに最適な土地があるのかと驚き、すぐに宇山地区に惚れ込んだ。翌年には台湾でフェアを行い、この盛り上がりも機に「うやま米」をブランド化し、国内でも販売を行った。これが多くのメディアに取り上げられ、宇山地区は注目を集めるようになったという。産地にも活気が生まれ、生産者のやりがいにもつながった。

しかし課題もあり、多くの中山間地域が直面する、高齢化問題、人手不足が米作りの足枷となっていた。ブランドが有名になり売上が伸びたとしても、産地のマンパワーが足りなければ、質のいい米

作りはできない。そこで、藤本さんは米作りで一番大変な工程はなにか生産者さんと話し合い、出てきた課題が「田んぼの草刈り」だった。毎年夏に3回行っている「草刈り応援隊プロジェクト」の始まりである。藤本さんや若手生産者が中心となり「宇山ミーティング」を開催。「里山照らし隊(※)」と連携しながらプロジェクトの実現に向けて意見交換を行った。facebookなどのSNSでボランティアを募集し、集まった参加者は総勢50人。地域のために何かしたいと思っている若者を中心に参加を募り、思いを実現できるプロジェクトとして走り出した。また、応援隊の様子をSNSで発信することで、宇山の知名度向上と「うやま米」のファン獲得につながった。参加者からは「また宇山に来たい」という声もあり、地域のために活動する喜びを体感してもらうことができた。生産者の負担は軽減し、販売者は米の売上アップにつながり、参加者は活動を通じて地域貢献ができ、全ての人にメリットがある“三方よし”のプロジェクトとなった。

本業の傍ら、「自分たちにできることから少しずつ」と産地の課題解決に取り組み、成果を上げてきた。今後は、まだ眠っている産地の掘り起こしを行いながら、地域を盛り上げる活動を行っていく。

米屋の役割について、藤本さんは「生産者と消費者をつなぐ架け橋」という。手間ひまと愛情を込めて作られたお米たちを多くの人に知ってもらいたい。

“No Rice, No Life”を胸に、島根の米を愛する藤本さんの挑戦は続く。(F)



▲草刈り応援隊、出動！



▲「うやま米」



有限会社 藤本米穀店 代表取締役社長 藤本 真由さん

1982年11月6日生まれ。松江市出身。藤本米穀店の5代目。「真由」と書いて、「まさよし」と読む。関西学院大学卒業後、加藤産業(株)に就職。家業を継ぐため2008年に地元へUターン。2016年に代表取締役社長に就任した。趣味はバスケット、島根スサノオマジック。

主な活動

地元の米屋として日々上質な米を追い求めながら、米の産地を盛り上げようと「草刈り応援隊」を結成し、宇山地区を支援。若者が地域のために活動するきっかけ作りにも貢献している。

【資格等】農産物検査員、ごはんソムリエ、PCQI、雲南市PR大使

【所属団体】里山照らし隊、松江商工会議所青年部(松江 YEG)

※「里山照らし隊」

雲南市吉田町民谷宇山地区の地元ボランティアでつくる、宇山地区を盛り上げるための任意団体。「田んぼアートイベント」「林業体験」「竹炭を利用した畜電器の製造」なども行い地域の活性化に寄与している。

県内 NPO 情報 H30.12.31 現在

1	県内NPO法人数	全体	286
		内認定	6
		内仮認定	1
2	新設NPO法人数		3
3	解散NPO法人数		0
4	しまね社会貢献基金登録団体数		65
5	だんだん認証レベル取得団体数	全体	46
		内レベル2	34

●今月の新設NPO法人

特定非営利活動法人知夫里島体験塾ハーボ(隠岐郡知夫村)
特定非営利活動法人未来創造プロジェクト(松江市)
特定非営利活動法人石見銀山いくじの会(大田市)

発行元

公益財団法人 ふるさと島根定住財団

(しまね県民活動支援センター)

【松江事務局】

〒690-0003 松江市朝日町478-18 松江テルサ3階

TEL (0852)28-0690 FAX (0852) 28-0692

E-mail: chiiki@teiju.or.jp

【石見事務所】

〒697-0034 浜田市相生町 1391-8 シティパルク

浜田 2階 石見産業支援センター「いわみぷらっと」内

TEL (0855)25-1600 FAX (0855)25-1630

E-mail: iwami@teiju.or.jp



Facebook も日々更新中！
しまね県民活動支援センター
(ふるさと島根定住財団)で
検索してみてください♪

県民活動応援サイト Shimane Ikiiki Hiroba

島根いきいき広場

<https://www.shimane-ikiiki.jp/>